

2022年 春号 VOL.7

発行 一般社団法人 宇部市医師会 (在宅医療提供体制充実支援事業) 〒755-0072 宇部市中村三丁目12番54号 TEL 21-5437 FAX 21-2717 URL:https://ube-med.com/

宇部市健康福祉部 高齢者総合支援課 〒755-8601 宇部市常盤町一丁目7番1号 TEL 34-8303 FAX 22-6026 URL:https://www.city.ube.yamaguchi.jp

市民のための医療情報紙

在宅医療だより

こんにちは!訪問看護です

「訪問看護」という言葉を聞いたことはあっても、どのようなサービスで、どうすれば利用できるのかはあまり知られていません。

訪問看護は子どもから高齢者、症状や障がいが軽くても重くても、医師が必要と認めれば誰でも利用できるサービスです。住み慣れた家に療養の場を移し、自分らしく日々の生活を送りながら必要な医療・看護を受けることができます。訪問看護師の役割は医療処置だけでなく、「自分らしい生活」を一緒に考え、望む生活が継続できるように支えていく事です。また同時に、療養を支える家族のケアを行うことも訪問看護の大きな特徴です。急な発熱や体調不良時は、主治医に連絡をとり指示を仰ぎます。日常生活動作が不自由になってきたら、ケアマネジャーに連絡をとり福祉用具等を調整して頂きます。このように多種職との連携をはかりみんなで支えていきます。



訪問看護をご利用したい方は、主治医、ケアマネジャー、訪問看護ステーション、地域包括支援センターまでご相談ください。

山口県訪問看護ステーション協議会 宇部支部長/医療法人社団 民正会 訪問看護ステーションかがやき 三上 智恵

訪問看護サービスの内容

- 定期的な健康状態の観察、相談
- 点滴・採血・吸引・在宅酸素等医療ケア
- インスリン注射、床ずれ処置
- 人工肛門や胃ろう・腎ろうの管理
- 人工呼吸器の管理
- 痛みの軽減や服薬管理
- 清潔、排泄のケア
- 緊急時の対応
- 主治医、ケアマネジャー、薬剤師との連携
- ターミナルケア、ご家族様の支援
- 福祉用具の提案など



在宅医療を支援する病院

宇部市内で活躍している支援病院をシリーズで紹介していきます。

宇部記念病院はこんな病院です。

当院は、医療病床190床(一般病棟66床、療養病棟62床、障害者施設等病棟62床)および、介護医療院60床のケアミックス病院となります。

住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築の実現に向け、「優しい心を持って、最良の医療・看護・介護を。」を念頭に、地域に密着し、当院での役割をしっかりと果たし、地域貢献・医療貢献に努めてまいります。

「在宅療養支援病院」として、昨年より、地域貢献・医療貢献と致しまして、在宅診療部を立ち上げ、訪問診療・往診診療を始めさせていただきます。



内科・外科はもとより、形成外科・皮膚科・耳鼻科等の専門医が、居宅・施設等を訪問させていただいております。常勤医・非常勤医が一体となり、近隣の病院・診療所・施設及び行政各所と連携をとりながら、地域の方の支援をしてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

在宅療養支援病院 医療法人博愛会 宇部記念病院 院長 山下 晃正
宇部市上町1丁目4番11号
TEL (0836) 31-1146 (代表) FAX (0836) 22-7118 (代表)

在宅医療の現場

最前線レポート⑥

緩和ケア病棟医から在宅医への第一歩



元気がなくなった患者さんとご家族、私たちスタッフの写真です。

約2年前に実家のささい放射線科(現在おのだ放射線科クリニックに名称変更)を継ぎました。前任地の山口宇部医療センターでは、緩和ケア病棟医として疼痛コントロールをはじめ、患者さんが苦痛なく穏やかに過ごせるようにケアを行うことを主な業務としておりました。当時はまだコロナウイルス感染症の流行前で、ご家族の面会は24時間可能、患者さん外泊・外泊の制限もありませんでしたが、コロナ禍の現在はいずれにも制限があり、在宅医療を希望される方が増えているかと思っております。

また当時、体力低下の状態でご自宅への外出に不安をお持ちの入院患者さんがおられました。私が付き添いをする形でご家族と一緒に外出を実現しました。滞在時間は1時間程度でしたが、疲労以上に自宅に戻れた達成感に皆さんがとても喜ばれていました。患者さんにとって自宅が特別な存在であることを実感し、在宅で過ごすことの大切さを学んだことをきっかけに、私自身が在宅医療に関心を持つようになりました。

その数年後、私の在宅医療デビューの機会が訪れました。患者さん第1号は80歳の女性で、腰椎圧迫骨折による腰痛が強く、受診が困難のためご主人より往診の依頼がありました。お伺いすると苦痛の表情でベッドに寝ておられ、寝返りもつらく、食欲不振、貧血も強い状態でした。まず腰痛に対して疼痛コントロールを開始し、栄養摂取不良・貧血については週2回の訪問看護を導入し、定期的に点滴治療を行うことになりました。1週間後には疼痛も軽減し表情も穏やかに、トイレへの移動も可能になりました。現在は歩行も食欲も改善し、週1回の点滴を行う程度で元気に過ごしています。ご本人の表情が明るくなるにつれ、ご家族にも笑顔が見られるようになりました=写真。

在宅で家族と一緒に過ごすことは、本人にとってもご家族にとってもかけがえのないことです。時に家族に負担がかかることもあるのが在宅医療の難しさですが、訪問介護・看護・リハビリ・往診等でサポートすることにより、少しでも患者さんご家族の負担を軽減していくことが我々の役割かと思っております。

おのだ放射線科クリニック 院長 小野田 秀子
宇部市東小羽山町4丁目1-2
TEL (0836) 22-0331 FAX (0836) 37-1117

知っていましたか?

山口県のがん検診受診率 (大腸、乳、子宮頸部)
※胃がんは46位、肺がんは41位
※都道府県別がん検診受診率 (2019年国民生活基礎調査)

全国最下位

あなたはどのタイプ?

毎年受診しているあなたへ

お忙しい中、いつも受診していただきありがとうございます!今年度は4月1日から受診開始です。

受診しようか迷っているあなたへ

思い立ったが吉日です!今年度はぜひ受診してみてください。受診券を使えば、低額で受けられます。

受診するつもりがないあなたへ

後悔先に立たず!がんの生存率を上げる最も効果的な方法は、薬でも手術でもありません。検診で早期発見することです。

早期発見が大切です!

5年先の生存者数は... ※5年相対生存率 (国立がん研究センター)

早期胃がん (ステージI) と診断された100人のうち



約95人

進行胃がん (ステージIV) と診断された100人のうち



約9人

がんが見逃され、進行していないか心配しています。何とかしてがん検診受診率を上げたいです!



問い合わせ 宇部市保健センター TEL: (0836)31-1777 FAX: (0836)35-6533

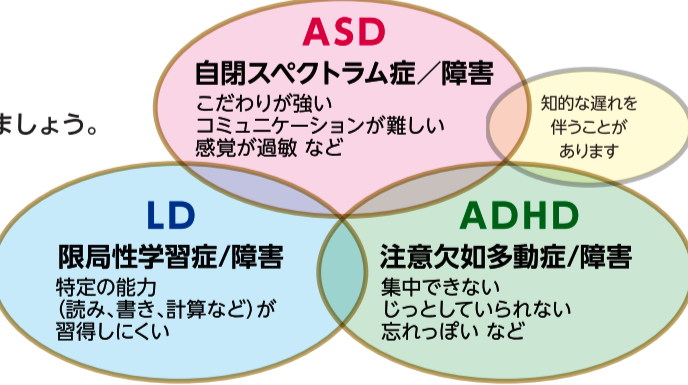
しっちゃん? 発達障害

4月2日(世界自閉症啓発デー)から4月8日までは「発達障害啓発週間」です。誰もが幸せに暮らすことができる社会の実現を目指して、発達障害について理解を深めましょう。

発達障害って何ですか?

- ASD:自閉スペクトラム症/障害
- LD:限局性学習症/障害
- ADHD:注意欠如多動症/障害

その他これに類する脳機能の障害です。保護者の育て方や愛情不足によって引き起こされるものではありません。



参考:主な発達障害の定義(文部科学省)、発達障害の理解のために(厚生労働省)

ひとりで抱え込まず、気軽に相談しよう

宇部市発達障害等相談センターそらいろ

【場所】宇部市多世代ふれあいセンター5階(琴芝町二丁目4番25号) TEL(0836)43-6777 FAX(0836)43-7174

宇部市内にお住まいの発達障害等のある(ご心配のある)人とご家族およびその支援者のための身近な相談窓口です。ご本人やご家族の悩みや不安をお聞きして、どう対応したらよいか一緒に考えていきます。

ご利用案内 ●月・火・木・金曜日/9:00~17:00 ●土・日曜日、祝祭日、年末年始は原則お休みです。 ●水曜日/12:00~20:00、第3水曜日(休館日)は9:00~17:00です。

便利な手帳・冊子のご紹介

障害福祉課や宇部市発達障害等相談センターそらいろ等の窓口で配布しています。(A4サイズ・無料)



パーソナル手帳

発達などについて気になっている方、発達障害児(者)の方の乳幼児期から成人期までの情報を1冊にまとめておくことで、転居や就学・進学、就職など環境が変化する際、当事者(保護者)と支援者、また支援機関間との間で情報伝達をスムーズにすることができず。(平成31年4月に改訂)



発達障害とともに生きていくためのサポートブック「そらいろ」

発達障害等のある(ご心配のある)児(者)の方と保護者、支援者などが、日常生活や社会生活の中で活用できる情報を集めた冊子です。



お問い合わせ先 宇部市障害福祉課 〒755-8601 宇部市常盤町一丁目7番1号 TEL(0836)34-8522 FAX(0836)22-6052